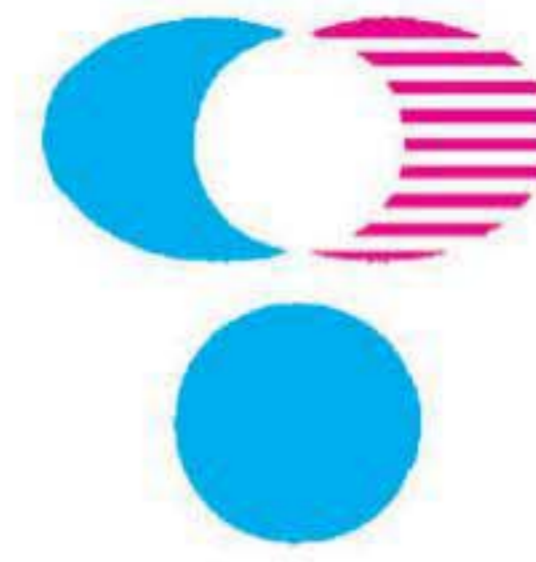


たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒781-6410 高知県安芸郡田野町1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 隆
(題字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com/> E-Mail:info@usui-kai.com



白ひげの滝 (美瑛町) 撮影者：岡崎 裕行 様

CONTENTS ページ

- 理事長コラム 1
- 研修医の先生にインタビュー 2
- 国際緊急援助隊医療チームとして
モザンビークにおけるサイクロン被害に派遣されました 3
- モザンビーク院内報告会 3
- リレーエッセイ 3
- 当院のMRIが新しくなりました 4
- 介護事業部だより 4
- たのたの温泉だより 4
- 認定超音波検査士(消化器領域)を取得しました 5
- 磁気共鳴(MR)専門技術者資格認定を取得しました 5
- 3学会合同呼吸療法認定士について 5
- 認定理学療法士について 5
- 病気のはなし 6
- お薬のはなし 6
- ピーマンとツナの味噌マヨ炒め 6
- 平成31年度新入職員オリエンテーション 7
- おらんくの病院 7
- 医療法人白井会平成31年度新入職員大歓迎会 7
- 令和元年度永年勤続表彰受賞者一覧 8
- 全面禁煙のお知らせ 8
- 新人紹介・編集後記 8

理事長コラム

桃の季節

理事長 白井 隆

6月の半ば過ぎに、高知市内での用事が早めに終わったので、女房に電話して自宅マンションの隣のスーパーと一緒に買い物に行くことにしました。

スーパーに入ると、目の前にたくさん桃が並んでいました。まだ、桃の季節には早いが、私も桃が好きなので、どうしようかと見ていると、女房が、今、家に孫が2人来ているが4歳の女の子は桃が大好きだということで、それじゃあ桃を買ってこよう！と決めて、私も1パック2個入りを買った。

買い物の後まだ用事があったのだけれど、孫に会うのも久しぶりだったので、会いに行きました。2人の孫は部屋の中を走り回っていたが、女房が、おじいちゃんが桃を買ってくれたよとパックの桃を見せると、満面の笑顔でキヤーともヒヤーとも言えないような歓喜の声を上げました。こんなに好きで喜んでくれるのならまた買ってこないといけないうちなと思いました。

桃のシーズンは7月～8月。孫に買った桃はまだ小ぶりで、

まだ早いかなど感じましたが、味は良かったのでほっとしました。

例年私が買うのは2個入り1パックを1～2週間に1回、つまり1週間に1～2個のペースで食べる計算になりますが、当たり外れもあり、おいしい時、まあまああの時、いまいちの時、ちよつとこれはという時、食べてみないと分からないので当たる確率は6割ぐらいでしょうか。

桃の原産地は中国といわれており、日本では岡山県から全国に広まったそうです。いまはたくさん種類があり、白桃しか知らなかった子供の頃とは全く違うようで、最近食べている桃は、産地も種類もあまり気にせず買っているのですが、余計に当たり外れもあるのかもしれない。

この夏は目を光らせて、おいしい桃を選んで、孫に喜んでもらうように頑張ります。



研修医の先生にインタビュー

地域医療研修として、当法人にて研修された初期臨床研修医の皆様にインタビューをしました。



まるい あきら
丸井 輝 医師
(県立あき総合病院)

研修期間
令和元年5月7日～令和元年5月31日

専攻：消化器外科
出身地：東京都
出身大学：高知大学医学部
趣味：フットサル・パソコン関連

Q. 研修前の、地域医療研修への印象を教えてください。

A. 地域医療という名のへき地医療。

Q. 研修中大変だったことはありますか？

A. 1時間半の通勤。

Q. 研修中、一番印象に残ったことがあれば教えてください。

A. 高齢者とは思えないほど普通に会話が可能で、足を組むことも可能な101歳の利用者にあったこと(デイスサービス)。

Q. 医療法人臼井会(田野病院)のイメージを教えてください。

A. リハビリを頑張っている病院。

Q. 指導医、職員の印象を教えてください。

A. 放ったらかしにされることがほとんどなく、丁寧に対応してもらえた。

Q. 将来“こんなDrになりたい!!”というDr像があれば教えてください。

A. 内科もできる外科。

Q. 最後に一言お願いします。

A. 志望する科に関わらず見ておくべき内容が多かったです。田野病院を選んでよかったです。ありがとうございました。



なかやま ゆうじ
中山 雄二 医師
(近森病院)

研修期間
令和元年6月7日～令和元年6月28日

専攻：病理
出身地：高知県
出身大学：慶応義塾大学医学部
趣味：旅行、食事、ドライブ

Q. 研修前の、地域医療研修への印象を教えてください。

A. 外来などに追われて、それほど勉強の時間はないと思っていました。

Q. 研修中大変だったことはありますか？

A. 車がないので、その大変さはありました。

Q. 研修中、一番印象に残ったことがあれば教えてください。

A. 家屋訪問に同行させていただいたことです。「独居でこの家で暮らしているのか!!」と衝撃を受けました。

Q. 医療法人臼井会(田野病院)のイメージを教えてください。

A. 地域に根ざした中芸・芸東最後の砦です。

Q. 指導医、職員の印象を教えてください。

A. 決して怒らず優しく教えて下さいました。飲み会が多くて楽しかったです。

Q. 将来“こんなDrになりたい!!”というDr像があれば教えてください。

A. 研究などに興味がありますので、そういうことができたらうれしいです。

Q. 最後に一言お願いします。

A. しばらくは、地域医療に直接的には関わることができないかもしれませんが、地域医療研修のことを思い出し、考えることはできます。また、具体的なイメージはありませんが、何か貢献できることを探していきたいです。



国際緊急援助隊医療チームとしてモザンビークにおけるサイクロン被害に派遣されました

薬剤部 主任 齊藤 忠男



3月28日～4月10日の14日間、アフリカ南東部のモザンビーク共和国におけるサイクロン被害に対して国際緊急援助隊医療チームの隊員として派遣されました。

3月27日、日本国政府はアフリカ モザンビーク共和国におけるサイクロン被害に対して、国際緊急援助隊医療チームの派遣を決定しました。それに伴い JICA(国際協力機構)より同日午前10時過ぎに派遣隊員募集の案内があり、午後7時前に派遣が決定しました。派遣決定後は大慌てで荷物を準備し、緊張であり熟睡できないまま朝を迎え、集合場所の成田空港へ向け高知を出発しました。日本からモザンビークへは香港や南アフリカなどを経由して約30時間かけての移動でした。

現地での日本チームは洪水被害の影響を受けつつもモザンビーク第二の都市である Beira (ベイラ) から車で3時間程度のところにある Guara-Guara (グアラグアラ) にて医療活動を実施しました。

気温50℃、湿度90%を超える気候の中、野営を行いながらの活動は肉体的・精神的にも非常に厳しい環境でしたが、チーム一丸となって多くの被災者の治療にあたりました。チームの中で私は薬剤師として調剤や投薬、医薬品管理業務を行うだけでなく、他職種と連携して患者さん受付やサイト設営、居住環境の整備など多くの業務に携わらせていただきました。また、活動中には地域住民とのふれあいや、日本では見たことのない満天の星空に心癒されながら無事に二次隊へ活動を引き継ぎ、帰国いたしました。

帰国後、初めて出勤した際には理事長をはじめ多くのスタッフによる出迎えを受け、寄せ書きや記念品までいただき、改めて素晴らしい病院に勤務していることに感謝しました。

最後にモザンビークの一日も早い復興を願うとともに、今回の派遣にあたり多大なるご理解・ご協力をいただいた薬剤部をはじめとする多くのスタッフの皆様には心より感謝申し上げます。また、今後も人道支援活動にご理解・ご協力いただけますと幸いです。



モザンビーク院内報告会

経営企画部長 兼 総務課長 安岡 将一



5月20日(月) 17:45-18:05 当院会議室にて、薬剤部齊藤主任によるモザンビーク院内報告会を行いました。

月曜日の業務終了後にも関わらず、当院の多職種職員の他に、JICA(国際協力機構)四国の山科様、高知新聞の北原様にもご参加いただき、会場は50名以上の満員状態となりました。

約20分という短い時間ではありましたが、写真と動画を活用し簡潔にまとめられた中で大自然の中での多岐にわたる活動の過酷さが伝わる内容で、フロアからも質問もあり、大変貴重な報告会となりました。

齊藤主任から「一生のお願いを聞いていただいた法人と上司、同僚に感謝しています。」という言葉がありましたが、個人の向上心とお互いを尊重する職員のチームワークの良さという法人の強みを実感できた報告会でした。

当院といたしましても、今後もそのスペシャルな能力を法人の災害対策にも発揮していただけるよう共に取り組んで参りたいと考えます。

また、齊藤主任のこのような活躍は5月23日の高知新聞朝刊に掲載されております。当院のホームページにもその記事を掲載しておりますので、みなさん是非ご覧ください。

リレーエッセイ 夏のある日の出来事

外来・中材手術部 看護助手 宮地 亜希子

夏といえば…と考えながら思い出した高校時代のある日の出来事。

確かテストの前日で猛勉強(一夜漬けてやつですね)していて、かなり疲れた状態で布団に入りました。一瞬で睡魔に襲われ眠りについた途端、右腕を”ガシッ”と誰かに掴まれた感覚で目が覚めました。『えっ?!』と思ったのもつかの間で、その力はどんどん強くなり体が動かない事に気づきました。生まれて初めての金縛りです。今まで幽霊も見たことがないし、そんな恐怖体験もしたことがなかった私が、次に頭をよぎったのが『これ…おばあちゃん(祖母)だ!』と。その瞬間、腕を掴まれている感覚から背中に手が”スッ”と入ってくる感覚に変わりました。『怖い!』と目を瞑ったまま全身に力を入れた瞬間、金縛りが解けました。普通に考えれば、勉強で腕を使い過ぎて疲れが溜まって起きた現象なのかもしれませんが、私がその時に感じた祖母は私が産まれる前に他界していて、会ったこともありません。なぜ会った事のない祖母だと感じたのかは未だに分かりませんが、もしかしたら、なかなかお墓参りにも行けていなかった私に会いに来て欲しいとのサインで、抱くこともなく他界した祖母が抱きに来てくれたのかなと思いました。この出来事がきっかけで、お墓参り(ご先祖様を大切にすること)が大切な事だと改めて気づかされました。



MRI が新しくなりました

放射線部 主任 中石 宇俊

このたびMRI装置(1.5T ECHELON Smart Plus)が新たに導入されました。日本でまだ5台しか導入されていないというこの機種は、従来使用していたMRIと比較し、撮像時間の短縮、動きに強い撮像、撮像音の低減が特徴です。

また、1.5テスラの磁力は変わりませんがソフト面がよくなり、確かな画像品質と検査時の静音性の両立が可能になりました。



① Speed が Plus

IP-RAPID という技術で画質と撮影時間を短縮。様々な部位、機能と組み合わせる事が出来るので撮像時間を維持しながら画像の質を向上する事も可能となります。

②動きに強い

All Around RADAR という技術で多数の撮影方法、任意の断面に対し使用でき、体の動きによる画質低下を防ぐ機能となります。特に頭部領域に必要な撮像方法にはほぼ全て使用出来、動きに強い画像撮影が可能です。

③診断に静寂という心地よさを

MRI 検査における音のうるささはいつも言われてきました。音が小さくても大幅な画質変化や時間延長があっては検査に使えません。今回の技術、SmartCOMFORTにより撮像音を以前の機種よりも低減する事が可能となりました。

その他にもエコモード(積算消費電力最大17%低減)、操作性向上(頭部の血管などの処理が一部自動化)、故障予兆診断(エラーデータを蓄積し機械学習を行い予兆診断を行う。)などが可能となりました。

皆様に安全にそして安心して利用してもらえようこれからも努力してまいります。

介護事業部だより

通所リハビリテーションのための オリエンテーション



いっしょにみんなで
さあ！



にこにこ楽座のみなさん楽しい時間をありがとうございました。

たのたの温泉だより

息切れの秘密

平成31年4月26日(金)
11:00 ~ 12:00

リハビリテーション部 認定理学療法士
森下 誠也

腰の痛み・シビレ

令和元年5月24日(金)
11:00 ~ 12:00

リハビリテーション部 認定理学療法士
和田 介成

今回の楽楽けんこう隊は以下の日程にて、開催いたしました。多数の方々にご参加いただき、心より御礼申し上げます。引き続き、ご愛顧下さいますようお願い申し上げます。職員一同お待ちしております。



認定超音波検査士（消化器領域）を取得しました

臨床検査部 臨床検査技師 松井 理恵

2018年11月25日に水原・松井の2名が超音波検査士認定試験を受験し、合格しました。

超音波検査士とは、日本超音波医学会が超音波検査に携わる臨床検査技師や診療放射線技師などから受験資格を有すると判定した者のうち、規定の症例検査実績レポートによる書類審査を受け、さらに筆記試験で合格基準に達した者に与えられる資格です。当院では初の取得となります。この資格を目指そうと思ったのは近年エコー検査の必要性が高まるなか、より精度の高い検査結果を臨床側へ提供するために知識や技術を身につけたいと考えたからでした。3年前より高知医療支援研究所の土居先生に指導をお願いし、日常の超音波検査から試験対策にいたるまで熱心に指導していただきました。

2人とも久しぶりの試験勉強は大変で、何度も心が折れてはお互いに励まし合い、教え合い、最後は神頼みで、無事に合格できた時は2人で飛び上がって喜びました。

これからも検査室一同、超音波検査の精度の向上に努めていきたいと思っております。



磁気共鳴（MR）専門技術者資格認定を取得しました

放射線部 診療放射線技師 大関 亜透



この春、私は磁気共鳴（MR）専門技術者資格認定を取得致しました。

この資格認定は日本磁気共鳴専門技術者認定機構が行っています。同機構は、MRIの機械、読影、撮影に関する7団体の代表者らが参画し設立されました。MRIの臨床的レベルを高める上で、機械、読影、撮影と並んで重要な、撮影技術の標準化を目的として種々の活動を行っています。

また、数年毎の更新が必要となっており、今後とも勉強会への積極的な参加や自己研鑽を行い努力したいと考えています。そして、最新の医療技術に対応した最善の画像情報を標準的に提供し、安全を担保する事で日々の業務に生かして行きたいです。

3学会合同呼吸療法認定士について

医療法人臼井会 3学会合同呼吸療法認定士取得者

看護師 岡本直樹（西病棟看護師長）

理学療法士 田口貴文（リハビリテーション部副部長）、秋友真雄、和田介成、楠本拓麻、森下誠也

作業療法士 曾我本祐大（リハビリテーション部副主任）、谷口梨奈



3学会合同呼吸療法認定士とは、公益財団法人医療機器センターが実施しているものであり、3学会（特定非営利活動法人日本胸部外科学会、一般社団法人日本呼吸器学会、公益社団法人日本麻酔科学会）から選出された委員により構成されている「3学会合同呼吸療法認定士認定委員会」が受講資格を有すると判定した者のうち、同委員会が実施する認定講習会の課程を履修したのち、同委員会が施行する認定試験において一定の合格基準に達した者に与えられるものです。

与えられた資格は認定更新制度により、呼吸療法のさらなるレベルアップと生涯学習の促進を図るために5年毎に更新を行うことになっています。

当院では、現在8名の認定士が在籍しており、今後も吸入療法、酸素療法、呼吸理学療法及び人工呼吸などの呼吸療法について、重要な治療手段のひとつとして普及と質の向上に貢献しつつ、多くの方々がその恩恵を受けられるよう尽力してまいります。

認定理学療法士について

医療法人臼井会 認定理学療法士取得者

理学療法士 和田 介成「脳卒中」「運動器」

理学療法士 森下 誠也「発達障害」

理学療法士 岡林 輝親「脳卒中」

理学療法士 有光 徳久「運動器」

理学療法士 久保 貴義「脳卒中」

理学療法士 西尾 正悟「運動器」

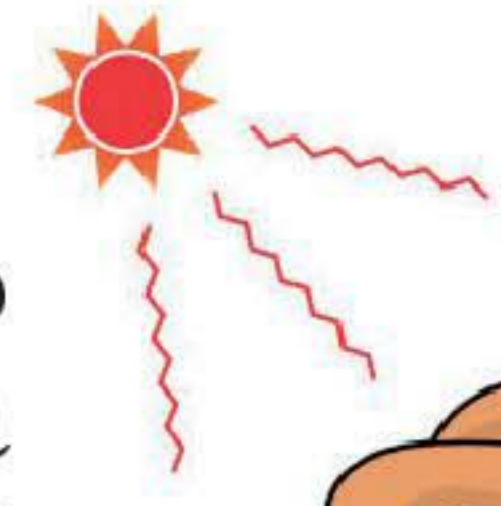
理学療法士 竹平 径代「介護予防」

認定理学療法士とは、日本理学療法士協会が実施しているものであり、自らの専門性を高め、高い専門的臨床技能の維持、社会、職能面における専門性を高めていく事を目的に定めている認定制度です。

現在当院には、7名の認定理学療法士が在籍しています。高知県での認定者は45名（2017年12月現在）とまだまだ世間には知られていない存在です。当院では、今後も育成に力を入れて認定者を増やし、当院におけるリハビリテーションの質の向上に尽力してまいります。

病気のはなし 熱中症について

内科医師 庵地 孝嗣



連日厳しい暑さが続いております。そんな中、娘の運動会があり応援してきましたのですが、自分達の頃と比べると、色々変わっていると感じます。そのひとつに熱中症対策があると感じています。それでも私自身、軽度の熱中症にかかったようで、翌日点滴を受けたのですが、これからますます暑さが厳しくなるので自戒も込めて熱中症についてお話したいと思います。

熱中症は高温、多湿、風が弱い、日差しが強いといった環境で、特に高齢者や乳幼児、体調の悪い人、病気の人などが激しい運動や慣れない運動、長時間の屋外作業そして水分補給がしにくいといった状況になることで引き起こされます。また、風通しが悪く熱のこもった屋内での運動や作業にも注意が必要です。

上記のような環境、状況が合わさり、汗をかくことで体内の水分や塩分が不足し血液の流れが低下します。それにより体に熱がたまり体温が上昇し熱中症になります。

体から水分が減少すると、筋肉や脳、肝臓、腎臓等に十分血液がいきわたらないため、筋肉がこむら返りを起こしたり、ボーっとして意識を失ったり、めまい、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感などの症状が現れます。また体温が40度を超えると肝臓や腎臓の機能に障害が起きることもあります。

熱中症は正しい知識を持って行動することで予防に務めることが出来ます。熱中症になりやすい環境にいる場合、100ml程度のスポーツ飲料やノンカフェインの麦茶などを15分～20分毎に補給をするよう心がけましょう。屋内の場合、カーテンやすだれなどで室内に入り込む直射日光を遮り、扇風機やエアコンを使用して室内に熱気がこもらないようにしましょう。服も通気性が良く、吸汗性や速乾性の高い服にしましょう。襟元をあけて熱が体内にこもらないようにすることも大切です。屋外では帽子の着用もお勧めです。

予防に努めても熱中症になる事がありますが、熱中症になったらどうしたらいいのでしょうか？

まず今述べた状況や症状を認め、呼びかけに反応がなければ救急車を呼び、涼しい場所へ避難させましょう。そして救急車が来るまでの間に服をゆるめ、うちわ等で扇いだり、冷たいペットボトルやビニール袋入りのかち割り水、氷嚢などを首の付け根や両脇の下、大腿の付け根に当ててしっかり冷やしましょう。呼びかけに反応がある場合は、同じように涼しい場所へ避難して体を冷やし、経口補水液やスポーツドリンクなどで水分・塩分を取らせましょう。自分で飲めない場合や、症状の改善が無い場合は医療機関へ受診しましょう。

以上熱中症について述べさせていただきましたが、願わくば皆さんが暑さ対策をとっていただき、こまめな水分・塩分補給をしていただいで、熱中症になりませんように。



お薬のはなし 高知県東部に多いマダニによる日本紅斑熱について

薬剤部 主任 斉藤 忠男



今回は夏場に高知県東部で発生の多い日本紅斑熱についてお話します。日本紅斑熱とは、一部のマダニが媒介する感染症の一種で、春～秋、特に肌を露出しやすい夏場に多く発生します。感染の原因となるマダニが高知県東部に多く生息することから、この地域では全国でもトップクラスの発生地となっており、当院でも毎年のように診られております。

症状としてはマダニに咬まれて数日～一週間程度で発症し、発熱・頭痛・倦怠感・発疹を伴って発症し、重症化すると白血球減少（細菌やウイルスに対する抵抗力が落ちる）、血小板減少（血が止まらなくなる）、肝機能障害などが発生し、最悪は命を落とす可能性もあります。このような症状が見られた際にはマダニによる咬み痕が無いか確認し、早めに受診してください。

治療としては抗菌薬や解熱剤、必要に応じて輸液などを投与します。また、感染を予防するためのワクチンなどは無く、農作業や森林作業を行う際に長袖・長ズボンなどで皮膚の露出を少なくする、虫よけスプレーなどを使用する、入浴の際などにマダニが付着していないか、咬み痕は無いかを確認することが重要になってきます。もし、マダニが付着していた場合には取り除き方に注意が必要のため、ご自身で取り除かずそのまま受診してください。

ピーマンとツナの味噌マヨ炒め

栄養部 管理栄養士 小松 華子



【材料】（2個分）

- ツナ缶（ノンオイル小さめの物）1/2缶 ＊汁気を軽くしぼっておく。
- ピーマン 3個 ● サラダ油 適量 ● 黒ごま 適量
- ☆ [・味噌 小さじ1杯 ・マヨネーズ 小さじ1杯 ・みりん 小さじ1杯]

【作り方】

- ① ピーマンのへたと種を除き、5ミリくらいの千切りにする。☆の材料を混ぜ合わせて合わせ調味料を作っておく。
- ② 鍋にサラダ油を入れピーマンを中火で炒め、ピーマンがしんなりしてきたらツナを入れ、☆の合わせ調味料も入れて軽く炒め合わせる。
- ③ 皿に盛りつけて、黒ごまをふり完成。

☆夏野菜のピーマンの料理を紹介しました。

ピーマンには、ビタミンC・β-カロテン・ビタミンP・ピラジン・カリウムなどの栄養素が含まれています。ピーマンのビタミンCには、ビタミンPにより熱や酸化から守られているため、調理しても壊れにくいという特徴があります。そのビタミンCには、夏の暑さや睡眠不足などによるストレスや紫外線を浴びることで体内に発生する活性酸素を除去する抗酸化作用のあるビタミンです。又、免疫機能を高めるβ-カロテンにも同じ作用があります。

ツナのくさみを味噌とマヨネーズが消していて、食べやすいと思います。カラーピーマンや茄子、ズッキーニに変えても良いと思います。お試しください。

平成31年度新入職員オリエンテーション

看護部 副看護部長 岡林 純賀子



4月1日から3日間、新入職員オリエンテーション&研修を行いました。新年度から看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、医療相談員たち12名が新しい仲間として加わりました。

3日間、多職種と講義やグループワークを行うことで、しっかりとチームワークも芽生え、笑顔でそれぞれの現場へ羽ばたいていきました。これから地域医療の担い手として、皆さんの活躍を期待しています。

初日は、「共生」の理念の基、皆で取り組んで行きましょうという臼井理事長からのご挨拶からスタートしました。部署長との合同研修はコミュニケーション講座を行い、自分と相手とのコミュニケーションタイプの違いを知り、上手に付き合う大切さを学んでもらいました。

看護技術については、厚生労働省の新人研修ガイドラインに沿った看護技術の習得が出来るプログラムになっています。今回は導尿、注射・採血、吸引の手技などを実施しました。

看護師とリハビリ部で喀痰吸引法の受講。皆さん、とても熱心に学ばれていました。

BLS講習会はDMAT隊員が中心に指導を行いました。

新入職員の皆さんの成長を、全職員で見守ってまいります。



おらんくの病院

デイサービスたの・ショートステイたの 介護職員 御園 信二



私の地元は鹿児島市です。鹿児島といえば幕末に活躍した人物、西郷隆盛が有名ですが、今でも当時に活躍した痕跡が多く残っています。意外と知られていないのが、鹿児島県は大分県の次に温泉の多い県でもあります。

シンボルでもある桜島もあり、大正の大噴火で桜島と大隅半島が陸続きになりましたが、毎年厄介なのが、春先より安芸頃まで風向きにより市内方面に降る火山灰です。毎月数回噴火する噴煙は、ドンと音がした後、高々と上がる様子は、実家からも見えます。降り積もった火山灰は風でもあれば砂嵐状態で、水で流すか雨が降るのを待つしかありません。指宿や霧島方面と良い所もあるのですが、火山灰が嫌で学校卒業後は県外に出ました。大阪でタクシーの仕事をしている時に、お客様との会話がきっかけで介護の道に進み、これからは、デイサービス・ショートステイたので頑張っていこうと思います。

医療法人臼井会 平成31年度新入職員 大歓迎会



みんな楽しく



司会のお二人
お疲れ様です



令和元年度永年勤続表彰受賞者一覧

令和元年6月20日実施

【30年勤続者】

上岡 祥 (外来・中材手術部 看護師)

【20年勤続者】

佐古 拓斗 (医事課 課長 診療情報管理士)

【15年勤続者】

四國 大輔 (外来・中材手術部 副師長 看護師)
河野江理子 (リハビリテーション部 理学療法士)
松井 理恵 (臨床検査部 臨床検査技師)
松岡 和彦
(デイサービスたの・ショートステイたの 所長 介護福祉士)

【10年勤続者】

今井 恵美 (医療相談室 主任 社会福祉士)
島村 勇希 (医療相談室 副主任 社会福祉士)
倉澤 澄子 (リハビリテーション部 作業療法士)
森本 紗織
(デイサービスたの・ショートステイたの 介護福祉士)
松本真由美
(居宅介護支援事業所たの 所長 介護支援専門員)
山本 裕子
(ヘルパーステーションたの サービス提供責任者 介護福祉士)

【5年勤続者】

小松 優子 (西病棟 看護師)
川谷 真紀 (回復期リハビリテーション病棟 看護師)
有澤くるみ (リハビリテーション部 言語聴覚士)
有澤奈央人 (リハビリテーション部 作業療法士)
島崎 奈々 (リハビリテーション部 理学療法士)
西尾 正悟 (リハビリテーション部 理学療法士)
瀧渦 由佳 (リハビリテーション部 理学療法士)
安岡 希和 (リハビリテーション部 作業療法士)
横内 克之 (リハビリテーション部 理学療法士)
岩崎 尚子 (臨床検査部 臨床検査技師)
竹田 順子 (通所リハビリテーションたの 介護福祉士)
岩崎 宏紀
(総務課 主任 事務員・ヘルパーステーションたの 管理者)
牛窓 靖 (総務課 事務員・たのたの温泉 支配人)



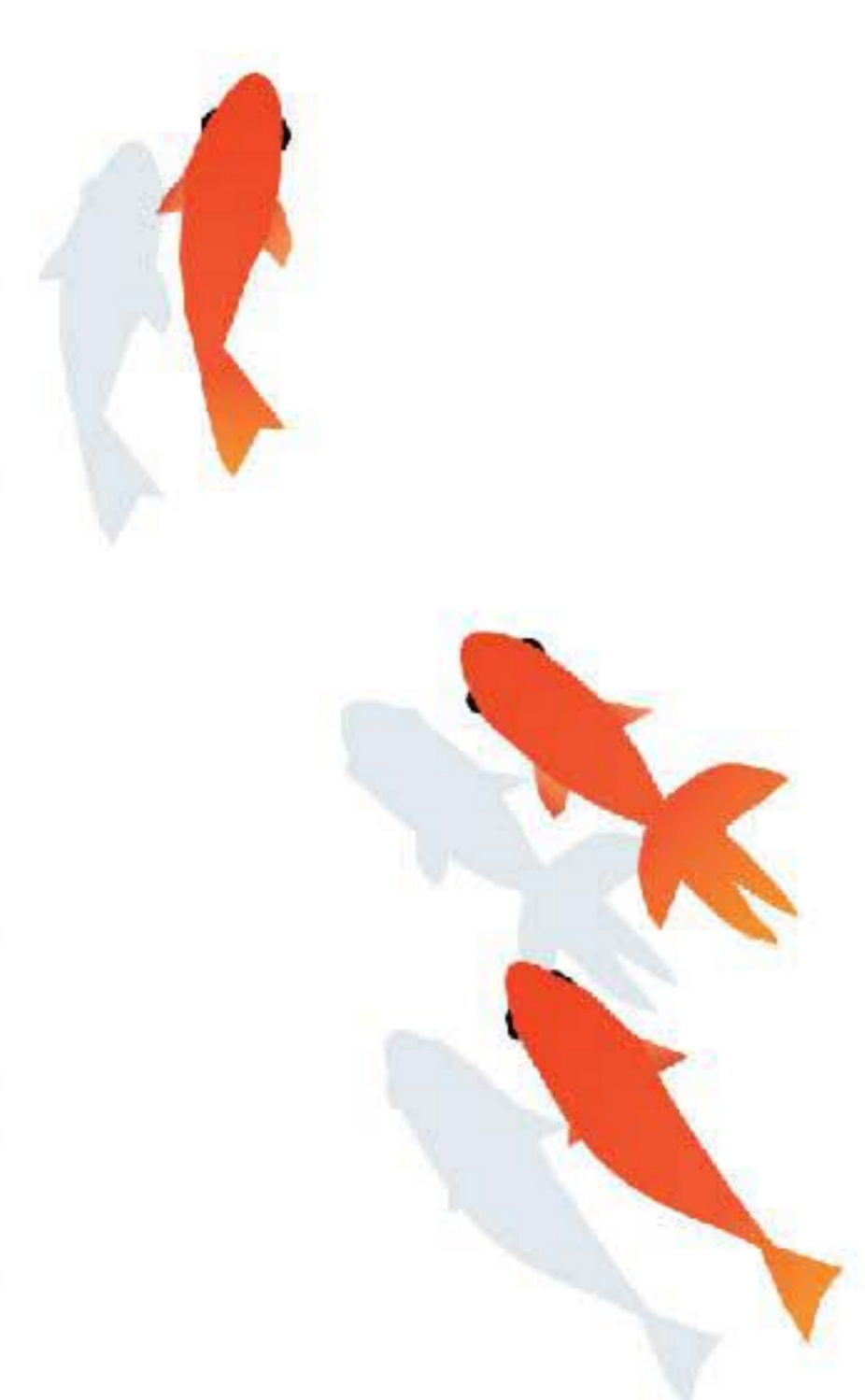
新人紹介

①所属・職種 ②出身地 ③趣味・特技 ④どのようなことで頑張っているか？

編集後記

今年も夏がやってきます。高知の夏と言えばよさこい!! 実は高知に来てからまだよさこいを見たことがないので今年こそは見に行きたいと思います。みなさんも夏バテや熱中症に気を付けて暑い夏を乗り切りましょう。

外来・中材手術部 看護師
岡村 真紀子



全面禁煙のお知らせ

健康増進法改正に伴い、当院では駐車場も含めた病院敷地内を全面禁煙とさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

